

令和元年度習志野市災害医療本部及び応急救護所訓練 実施報告

1. 日 時

令和元年9月8日(日)9:00~13:00

2. 会 場

(1)災害医療本部訓練:市庁舎グランドフロア会議室

(2)応急救護所訓練:第一中、第二中、第七中、保健会館

3. 目 的

災害医療本部、各応急救護所(市内4ヶ所)、災害拠点病院、救急告示病院(市内3ヶ所)間の情報伝達訓練(無線による画像電送訓練)、応急救護所におけるトリアージ訓練を実施し、各機関の役割や課題の共有を図ることを目的とする。

4. 参加機関

習志野市医師会、習志野市歯科医師会、習志野市薬剤師会、習志野市アマチュア無線非常通信連絡会、災害拠点病院、救急告示病院

5. 参加者

	災害 医療本部	応急救護所				救急告示病院 災害拠点病院(※)	合計 (名)
		第一 中学校	第二 中学校	第七 中学校	保 健 会 館		
	グランドフロ ア会議室					津田沼中央総合病院 谷津保健病院 習志野第一病院 済生会習志野病院(※)	
市職員	9	5	6	5	4		29
医師会	3	3	4	4	3	13 (医師以外の病院の職員含む)	30
歯科医師会	2	3	2	3	4		14
薬剤師会	2	2	2	3	3		12
アマチュア無 線非常通信 連絡会		1	2	1	1		5
合 計	16	14	16	16	15	13	90

6. 実施方法

防災訓練計画書(資料2-①)のとおり

7. 各会場での意見交換会・職員報告から見た今後の課題(資料2-②参照)

無線による情報伝達訓練、医師を中心としたトリアージ訓練については、これまでの繰り返しの訓練の成果もあり、今回は最もスムーズな設置や実施ができたと思われる。

医療対策本部と応急救護所では、それぞれの役割が共有できており、訓練の目的は概ね達成できたと考える。

今後の課題としては、災害時に傷病者はまず応急救護所に行くということを市民に知ってもらう必要がある。そのためには、市民参加型の応急救護所訓練を検討するとともに、ホームページ等を活用し、応急救護所について市民への周知に努めていきたい。